



ヒューライツ・シネマ

※ヒューライツとは、ヒューマンライツ（人権）の事です。



隣保館では、第4日曜日に人権映画を上映しています。

上映日時：9月25日(日)①10:00～②11:00～（本編36分）

上映場所:隣保館・集会室（2階）

サラーマット

～あなたの言葉で～



訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません

また、スマートフォンの急速な普及によって、SNS内でのいじめなどが深刻化し、社会問題になっています。一人ひとりがSNSを利用する際のマナーや配慮について考えていく必要があります。

この作品の主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な

存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。

2019年/36分

2022年度ヒューライツ・シネマ上映予定表

4月24日	インターネットと人権	ネットの人権	インターネット上の人権やプライバシー侵害つながらる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。	40分
5月22日	Voicelli! (ボイス) 人権の教室	人権全般	休日の学校で開かれる「人権の教室」招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手掛かりに、3つの人権のテーマについて学んでいきます。	38分
6月26日	映像で学ぶジェンダー入門	男女共同	男らしさ、女らしさといった考え方は人の無意識に存在します。そうした考え方はしばしばステレオタイプ化し、多くの弊害をもたらします。様々な事例から身近なところに潜む性別役割規範について考えます。	40分
7月24日	大地の母 きくゑ	同和問題	被差別部落に生まれたきくゑは、差別と闘いながら大正・昭和・平成と生き抜いてきた。うどん作りをとおして今でも地域社会に貢献するきくゑの活動を描いた心温まるドキュメンタリードラマ。	32分
8月28日	あなたがあなたらしく生きるために	LGBT	性・セクシュアリティはとでも多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごく僅かでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが生きづらさを感じています。	30分
9月25日	サラーラット ～あなたの言葉で～	多文化共生	異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	36分
10月23日	同じ空の下～パート1～	人権全般	大分県人権啓発冊子当事者インタビュー集「同じ空の下」の中から、LGBT・身体障がい者・ハンセン病回復者のテーマについてインタビューしたものをDVDにした作品です。	55分
11月27日	ずっと助けてと叫んだ	子どもの人権 女性の虐待	虐待サバイバーほしおか十色さんの半生を辿りながら専門家がその行動と紐解いていきます。被害当事者の苦しみを知り、支援の在り方を探るドキュメンタリーです。	63分
12月25日	カンパニユラの夢	高齢者の人権	8050問題は誰にでも起こりうることで認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	36分
1月22日	一人になる医師小笠原登とハンセン病強制隔離政策	ハンセン病	「ハンセン病は不治の病ではないし、遺伝でも、強烈な伝染病でもない、隔離は必要ない」と言い続けてきた一人の医師小笠原登。信じる道を進んだ背景や、人との出会いを描いたのがこの作品です。	99分
2月26日	同じ空の下～パート2～	人権全般	大分県人権啓発冊子当事者インタビュー集「同じ空の下」の中から、部落差別問題・発達障がい・性犯罪被害者のテーマについてインタビューしたものをDVDにした作品です。	55分
3月26日	同じ空の下～パート3～	人権全般	大分県人権啓発冊子当事者インタビュー集「同じ空の下」の中から、部落差別問題・LGBT・外国人の問題のテーマについてインタビューしたものをDVDにした作品です。	55分